

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年7月4日

派遣決定番号

報告回次 1日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	高知県	代表者名	濱田 省司		
担当者部署	総務部デジタル政策課	連絡先電話番号	088-823-9647		
担当者役職	主査	担当者氏名	片岡 太一	連絡先E-mail	
住所	780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号				

#### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	こちらの要望に応じて研修の内容を組み立ててくださりました。研修の内容も体系的な説明であり、非常に分かりやすかったです。質疑応答の際には市町村が個別に疑問・課題に感じている事についても全て回答していただきました。
アドバイザーへの要望事項	次回、市町村のトップ研修等をお願いしたいと考えているので、その際は是非お願いします。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年6月10日	講演(実地)	有	令和4年6月9日	45
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和4年6月28日	講演 (実地)	9時00分	12時00分	
				活動時間 (分)	180
3-2. 派遣場所	会場名	デジタル政策課 課室	最寄駅	とさでん交通 電停 (県庁前)	
	所在地	本町4丁目1番16号 (高知電気ビル別館別館7階)	最寄駅からの交通手段	徒歩5分	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	高知県内市町村	109 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	県内市町村に訪問し、国から示された「自治体DX推進計画」の取り組み状況のヒアリングを実施している。その中で、特に「自治体システム標準化・共通化」については現状の業務フローの整理が必要となるが、その必要性を十分に認識出来ていない市町村が過半数である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	県内市町村の情報システム担当及び業務担当にシステム標準化・共通化について理解してもらい、その前段となるBPRの重要性を理解してもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	システム標準化・共通化に関する全体 (国等) の動きや、市町村がどのような対応 (BPR等) が必要なのか説明していただく。質疑応答では市町村が個別に疑問や課題に感じている事について回答をいただく。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	システム標準化・共通化そのものに対する理解やBPRの必要性についての理解の向上。 市町村の情報主管課だけでなく、標準化・共通化の対象となる業務主管課の理解の向上。 質疑応答により、市町村の標準化・共通化に対する疑問の解消。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援のあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 全てのアンケート結果が集まっておりませんが、全体として83%以上が理解できたとなっている。 <アンケートについて> 以下の4段階で評価 「十分理解できた」「ある程度理解できた」の割合が83%	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今年度事業における最終的に目指す姿は、市町村担当者(情報企画担当者だけでなく、標準化対象20業務担当者を含む。)が、標準化が求められている背景を理解した上で、現在の業務の可視化、標準仕様書とのフィット&ギャップ作業といった標準化への具体的な取組に着手するとともに、次年	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。





